

必修科目 地域医療(朝日病院)臨床研修プログラム

1. 研修施設

朝日病院

2. 研修期間

2年次の1か月間

3. 指導体制

指導責任者：朝日公彦院長

4. 研修内容

I：一般目標

将来の専門性にかかわらず、地域保健活動を理解し、中小病院において地域医療を実践できる。

II：行動目標

- (1)患者－医師関係
- (2)チーム医療
- (3)問題対応能力
- (4)安全管理
- (5)診療および退院計画
- (6)医療の社会性

III：経験目標

- A 根拠法令に基づいた地域保健活動を理解する。
- B 退院準備の段階に入った患者について、地域と連携した退院計画を立案することができる。
- C 地域の医療・保健・福祉資源に関する知識を習得する。

IV：研修スケジュール

1か月の研修期間において、地域の医療・保健・福祉施設を含めて実習を行う。

1. 地域との連携が不可欠な入院患者について、初期評価、診療計画の立案、実習期間中の経過観察を主治医として行う。

2. 退院準備の段階に入った入院患者について、医学的に必要な準備、制度利用、地域資源の活用・連携などを行う。
3. 家族指導、コメディカル、地域スタッフとのカンファレンス等にも参加する。
4. 受け持ち患者に関連した地域資源を訪問し、見学実習を通して当該施設の役割、利用方法など具体的なサービス内容を理解する。